

## **経営方針について**

### **中期経営計画「INNOVATION 2009」**

当社は昨年4月に、2009年度までの2年間を対象とした新たな中期経営計画「INNOVATION 2009」を策定しました。これ迄4年間進めてきた「INNOVATION 2007」の基本的な考え方を継承し、グローバルな総合事業会社として、連結ベースでの企業価値向上と持続的成長を図りながら、社会の持続的発展に貢献していくことを目指します。

なお、昨年9月の米国金融危機に端を発した世界的な経済危機により、外部環境が大きく変化したことから、一部計画の見直しを行い、当面は健全性を最優先課題として取り組むことと致しました。

#### **(1) ビジョン**

本計画では、「INNOVATION 2007」に引続き「新・産業イノベーター」というビジョンを掲げております。「新しい時代を切り拓く」という高い志をもちながら社会とともに成長を続けていくという意味で、このビジョンを掲げてきましたが、引続き世界の更なる変化を捉えて、新しい時代の流れを創り出し、社会と共に成長を続ける企業を目指していききたいという趣旨で、改めてこのビジョンを掲げております。

#### **(2) 当中期経営計画期間(2年間)の位置づけ**

当中期経営計画期間の2年間は、不確実性の高い時代を迎える中で、「次の時代に向けて新たな仕込みと足場固めを行って行く時期」と位置づけており、選択と集中を進めて事業の質を高めながら、次の時代の成長の柱を創り上げていくと共に、連結経営や内部統制システムなどの経営基盤を着実に強化していきます。

#### **(3) 定量目標**

「中長期的な平均として ROE15%以上」を実現していくことを引き続き目指してまいりますが、昨今の経済環境の大幅かつ急激な悪化を踏まえ、2009年度の定量目標については、連結純利益 2,200 億円 (\*) と致しました。

(\*) 「当社の株主に帰属する当期純利益」のことをいい、平成20年度までの「当期純利益」と同じ内容です。

#### **(4) 基本コンセプト**

本計画では引続き以下の3つの基本コンセプト毎に重要課題を挙げており、各々の実現のために、経営施策を実行していきます。

##### **① 変化を捉えて未来を拓く(成長戦略の推進)**

「新エネルギー」「環境事業」等の中長期的に成長が見込まれ、次世代の柱となる事業や、全社の機能強化に大きな影響のある「IT事業開発」に全社を挙げて取り組むため、本年4月に社長直轄の「全社開発部門」を設置し、全社開発推進体制を強化します。

##### **② 人を活かし人を育てる(人材の育成と活用)**

成長を支える人材の確保や育成、社員の更なる活力向上に向けて、多様な人材が活躍できる

体制・環境づくりを、引続き連結・グローバルベースで進めていきます。また、限られた人的資源を有効に活用する為、より成長の見込める分野・地域への適材の投入・再配置を通じて、組織・個人の更なる活性化を図っていきます。

### ③ 足場を固める(経営基盤の継続的強化)

連結企業グループとしての一体感を更に高めるとともに、各社の経営基盤を強化しながら「信頼と責任」で結ばれた企業グループを築き、連結ベースの総合的な企業価値向上と持続的成長を図りながら、社会の発展に貢献していくことを目指します。

そのために、国内外拠点の機能の高度化や、コンプライアンス、内部統制や業務改革、システムインフラといった体制整備を連結ベースで進めていきます。